

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会（崎平区）
- 2 会議日時 令和4年12月21日（水）午後7時から午後8時13分まで
- 3 開催場所 崎平地区集会所
- 4 出席した者の氏名
 - （1）崎平区 参加住民14名
 - （2）執行機関 町長 藪田靖邦、教育長 山下 斉
（出席課長） 情報政策課長 坂下、教育総務課長 平松、農林課長 鈴木
（書記・庶務） 税務住民課課長補佐 坂本、総務課室長 向島
情報政策課室長 柴、総務課主幹 久保
- 5 内容
 - （1）行政からの報告（町長・教育長・情報政策課長）
 - ・これからの取組みと今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した今後のまちづくりの方針
 - ・町の教育方針について
 - （2）町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - （1）事前質問に対する回答等
なし
 - （2）意見交換
（住民） 台風15号において、水川地区を中心とした南部地域に大きな被害があった。北部地域の水道管は、地区を繋いでいる箇所が多い。
今後、断水地区へのバックアップとして地区間を繋ぐ布設工事が必要であると思うが、このことについて町の見解を伺いたい。
（町長） 先般の災害において「水」の大切さを改めて感じております。
特に、南部地域における断水対策については、地区間を繋ぐ工事と併せ地下水をポンプアップして対応することも検討しています。

(住民) 移住・定住の促進も重要であるが、町で生まれ育った人が町外に流失するのを少しでも止める施策が必要なのではないか。流失する理由は、働く場所がない、賃金が都市部と比較して低いなどあると思う。町内に就職する人に、町が賃金を補填する施策が必要と考えるがどうか。

(町長) 光ファイバー整備によって企業進出が進み、少しずつではあるが若い世代の定住に繋がっていると感じています。

町が賃金の補填を行うのは難しいことであると考えますが、移住者と企業の受け入れにつまましては、積極的な施策を展開していきます。

今後、子育て施策の充実、子どもたちへの未来への投資、学校再編により跡地となる校舎の働く場所としての利活用も検討していきます。

(住民) 荒廃農地と農作物の獣害対策について伺いたい。

(課長) 調査しましたところ、町内の農地約 100ha が耕作放棄地という結果が出ております。現在、有機碾茶の生産が増加しています。

今後、農地管理につまましての地域計画を策定予定であり、地域の皆様と意見交換をして進めていきます。

獣害対策につまましては、猟友会のマンパワーを向上させていきます。

(住民) 人口減と高齢化により、福祉関係のボランティア団体への参加が難しい状況になっているが、このことについて町の考えを伺いたい。

(町長) 日頃から、町の高齢者福祉事業などへの支援につまましては感謝申し上げます。各団体の今後のあり方につままして、関係課を中心に検討していきます。

(住民) 廃校となる校舎の活用について、社会問題となっている地域エコ対策としての活用も検討をお願いしたい。

(町長) 校舎の利活用につまましては、検討委員会を立ち上げて利活用を考えていくこととなります。ご意見としてお受けいたします。

(住民) 茶業における担い手不足や価格低迷によるマーケティング対応について今後の方向性を伺いたい。

(町長) 農地を集約しながら生産を拡大している農業者もいます。また、個人農家による個性的な茶の生産・販売展開も見られ、消費者の期待を集め始め

ています。町長として、トップセールスも積極的に行っていきます。

以上